



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月25日

上場会社名 アツギ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 洋志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括 (氏名) 岡田 武浩

TEL 046-235-8107

四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	17,180	△6.7	136	△80.1	333	△62.8	109	△83.3
30年3月期第3四半期	18,424	2.9	686	△39.5	896	△28.4	658	△19.3

(注)包括利益 31年3月期第3四半期 △1,306百万円 (—%) 30年3月期第3四半期 2,246百万円 (90.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	6.85	—
30年3月期第3四半期	40.58	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	54,950	47,136	85.5
30年3月期	57,842	48,926	84.4

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 47,007百万円 30年3月期 48,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△4.0	500	△41.1	600	△28.0	350	△39.6	21.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	17,319,568 株	30年3月期	17,319,568 株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	1,285,506 株	30年3月期	1,283,252 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	16,035,137 株	30年3月期3Q	16,214,447 株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部企業における収益や雇用環境の改善が継続するなど、全体として緩やかな回復基調となりました。その一方で、米中間の貿易摩擦の激化や中国をはじめとする世界経済の減速への懸念は高まっており、先行き不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、先行き不透明感による消費者の節約志向・生活防衛意識は依然として根強く、個人消費は引き続き力強さに欠ける状況が続いております。またインバウンド需要にも減少が見られ、企業間競争が一段と激化するなど、厳しい環境にあります。

このような状況のもと当社グループは、中期経営計画『ATSUGI VISION 2020』をスタートさせました。『ATSUGI VISION 2020』では、「更なる利益率の向上」に重点を置き、これまで培ってきた当社の強みを維持しつつ、利益を創出していくための新たな施策によって次の時代を見据えた事業構造への転換を図り、持続的な成長を可能とする強固な事業基盤の構築を進めてまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は17,180百万円(前年同四半期比6.7%減)、営業利益は136百万円(前年同四半期比80.1%減)、経常利益は333百万円(前年同四半期比62.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は109百万円(前年同四半期比83.3%減)となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次の通りであります。

〔繊維事業〕

レッグウェア分野は厚手を中心としたプレーンタイツなどの季節商品が伸び悩み、プレーンストッキングなどのベーシック商品も苦戦するなど、全般的に厳しく、同分野の売上高は13,937百万円(前年同四半期比8.6%減)となりました。

インナーウェア分野はスポーツインナー関連が順調に推移したほか、主力のショーツも好調に推移し、同分野の売上高は2,348百万円(前年同四半期比3.8%増)となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は16,286百万円(前年同四半期比7.0%減)、営業損失は217百万円(前年同四半期は316百万円の利益)となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業は保有資産の有効活用を進めておりますが、当事業の売上高は437百万円(前年同四半期比8.8%減)、営業利益は310百万円(前年同四半期比8.3%減)となりました。

〔その他〕

その他の事業につきましては、介護用品の販売は堅調に推移しました。一方で、太陽光発電による売電は天候の影響などにより発電量が減少いたしました。これらの結果、当事業の売上高は456百万円(前年同四半期比5.0%増)、営業利益は43百万円(前年同四半期比45.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は54,950百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,891百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の減少1,974百万円、現金及び預金の減少906百万円、売上債権の減少394百万円およびたな卸資産の増加740百万円等によるものであります。

負債の部は7,813百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,101百万円減少いたしました。これは主に、通貨オプションの減少467百万円および繰延税金負債の減少323百万円等によるものであります。

純資産の部は47,136百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,789百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益109百万円の計上や、前期決算に係る配当金481百万円による減少およびその他の包括利益累計額の減少1,360百万円等によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は85.5%(前連結会計年度末は84.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 31 年3月期の連結業績予想につきましては、国内外の経済動向、為替の変動、消費動向などに不安定要素が多いため、平成 30 年 10 月 24 日公表の業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,119	8,212
受取手形及び売掛金	4,516	4,122
商品及び製品	4,730	5,627
仕掛品	1,795	1,690
原材料及び貯蔵品	530	479
その他	327	431
貸倒引当金	△11	△70
流動資産合計	21,008	20,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,594	5,659
機械装置及び運搬具（純額）	3,381	3,088
土地	16,307	16,251
建設仮勘定	44	30
その他（純額）	152	146
有形固定資産合計	25,480	25,174
無形固定資産	289	245
投資その他の資産		
投資有価証券	10,695	8,720
繰延税金資産	51	51
その他	316	266
貸倒引当金	△0	△2
投資その他の資産合計	11,063	9,036
固定資産合計	36,833	34,456
資産合計	57,842	54,950

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,622	2,765
未払法人税等	154	71
賞与引当金	123	37
その他	1,495	812
流動負債合計	4,394	3,688
固定負債		
繰延税金負債	1,006	683
再評価に係る繰延税金負債	1,850	1,850
退職給付に係る負債	1,343	1,299
その他	320	292
固定負債合計	4,520	4,125
負債合計	8,915	7,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	31,706
資本剰余金	9,345	9,345
利益剰余金	5,250	4,822
自己株式	△1,457	△1,460
株主資本合計	44,844	44,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,898	2,371
繰延ヘッジ損益	△324	7
土地再評価差額金	△406	△349
為替換算調整勘定	786	563
その他の包括利益累計額合計	3,954	2,593
非支配株主持分	128	129
純資産合計	48,926	47,136
負債純資産合計	57,842	54,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	18,424	17,180
売上原価	12,581	11,863
売上総利益	5,842	5,317
販売費及び一般管理費	5,156	5,180
営業利益	686	136
営業外収益		
受取利息及び配当金	209	230
持分法による投資利益	—	8
為替差益	45	—
その他	47	42
営業外収益合計	302	281
営業外費用		
持分法による投資損失	32	—
為替差損	—	42
租税公課	22	22
その他	37	20
営業外費用合計	92	85
経常利益	896	333
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	69	144
特別利益合計	70	145
特別損失		
固定資産除却損	18	22
減損損失	—	95
貸倒引当金繰入額	—	51
特別損失合計	18	169
税金等調整前四半期純利益	948	308
法人税、住民税及び事業税	209	143
法人税等調整額	74	47
法人税等合計	283	191
四半期純利益	664	117
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	658	109

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	664	117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,113	△1,527
繰延ヘッジ損益	134	332
為替換算調整勘定	315	△225
持分法適用会社に対する持分相当額	18	△3
その他の包括利益合計	1,582	△1,423
四半期包括利益	2,246	△1,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,232	△1,307
非支配株主に係る四半期包括利益	14	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(['税効果会計に係る会計基準』の一部改正)等の適用)

['税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	17,509	479	17,989	434	18,424	-	18,424
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	-	2	-	2	△ 2	-
計	17,511	479	17,991	434	18,426	△ 2	18,424
セグメント利益	316	338	655	30	686	-	686

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売および太陽光発電による売電であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	16,286	437	16,724	456	17,180	-	17,180
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	-	2	0	2	△ 2	-
計	16,288	437	16,726	457	17,183	△ 2	17,180
セグメント利益又は損失(△)	△ 217	310	92	43	136	-	136

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売および太陽光発電による売電であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

繊維事業において、一部の工場閉鎖の予定に伴い、当該固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損処理しております。

なお、当該減損損失95百万円は当第3四半期連結累計期間に特別損失として計上しております。